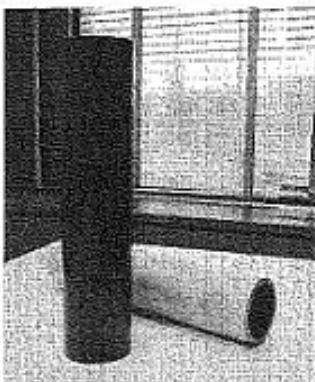


積水化学工業

クウチヨウハイパー発売 PE管、冷温水用途に初対応

積水化学工業は、冷温水用途に対応した空調配管用高性能ポリエチレン(PE)管「クウチヨウハイパーCH」を12月、発売する。同社はこれまで給水用途でPE管「エスロハイパーAW」を展開してきたが、今回、そこで培ったノウハウを応用し、初めて冷温水用途に対応したPE管ならでは、優れた耐久性・耐食性と省力化を冷温水管で実現している。同製品は5層構成となっており、中間層に「高密度ポリエチレン複合素材」を採用している。こ



クウチヨウハイパーCH
そこで今

れが従来のPE管の半分以下の熱線膨張性(温度の上昇に対応して長さが変化する割合)を達成した。これにより0度C、60度Cの冷温水への対応が可能となった。これまでのエスロハイパーAWは、40度Cまでが対応温

度であり、いかに今回の素材が高性能かが分かる。またこれにより1Mpaまで使用が可能になったほか、管のたわみも抑制する。

従来、冷温水用途に使用されてきたSGP(配管用炭素鋼管)は、サビや汚れ、赤水により内部が腐食してしまい、漏水が発生する恐れがあった。この点、PE管であれば腐食の心配はない。ただポリエチレンは樹脂

の一種であるため、管表面から酸素を吸込むが、これが熱交換器の銅管を腐食させる問題があった。今回、外層に「バリア層」を採用することで、酸素透過性の大幅な抑制が可能にしている。加えて施工時の省力化にも貢献する。同製品はSGPに比べ重量(呼び径100の場合、重量はSGPの約三分の一)で持ち運びが容易。また管の接合には容易な「EF接合(継手内部に埋め込まれた伝熱線に電流を流し、管表面と継手内部を融着・接合する工法)を採用しており、ねじ切りや溶接などの熟練技術は不要。さらに防火区画の貫通時は、熱膨張性耐火シート「ファイブロック」を保温材の上から巻き付けるだけ。これらにより大幅な施工時間の短縮が可能となっている。カラーには紫色を採用(グリーンも受注生産で対応)。一目で区別がつけられるので、誤接続を防止する。サイズは管、ソケットともに、呼び径0、50、75、100、150、200を展開する。